

大齋節第4主日特祷

恵み深い神よ、祝福された御子イエス・キリストは、この世界にいのちを与える真のパンとなるために、天から降られました。どうかこのパンを私たちに与え、常に主が私たちのうちに生き、私たちが主のうちに生きることができるようにしてください。主は父と聖霊とともに一体の神であって、世々に生きすべてを治めておられます。 **アーメン**

旧約聖書 サムエル記上 16章1－13節

16:1 主はサムエルに言われた。「いつまであなたは、サウルのことで悲しんでいるのか。私はイスラエルの王位から彼を退けた。角に油を満たし、出かけなさい。あなたをベツレヘム人エッセイのもとに遣わす。私は彼の息子の中に、王となる者を見つけた。」2 サムエルは言った。「どうして、私が行きましょう。サウルが聞いたら、私を殺すでしょう。」主は言われた。「若い雌牛を引いて行き、『主にいけにえを献げるために来た』と言いなさい。3 いけにえを献げるときには、エッセイを招きなさい。あなたがなすべきことは、その時に私が教える。あなたは、私がそれと告げる者に油を注ぎなさい。」4 サムエルは主が命じられたとおりにした。彼がベツレヘムに着くと、町の長老たちは不安そうに出迎えて言った。「お出でになったのは、平和なことのためですか。」5 サムエルは言った。「平和なことです。主にいけにえを献げるために来ました。身を清めて、私と一緒にいけにえの儀式に出てください。」こうして、サムエルはエッセイとその息子たちを清め、いけにえを献げるために彼らを招いた。6 彼らがやって来ると、サムエルはエリアブに目を留め、彼こそ主の前に油を注がれる者だと思った。7 しかし、主はサムエルに言った。「容姿や背丈に捕らわれてはならない。私は彼を退ける。私は人が見るようには見ないからだ。人は目に映るところを見るが、私は心を見る。」8 エッセイはアビナダブを呼び、サムエルの前を通らせた。サムエルは言った。「この者も主はお選びにならない。」9 エッセイは次にシャンマを通らせたが、サムエルは言った。「この者も主はお選びにならない。」10 エッセイは七人の息子をサムエルの前に通してみたが、サムエルはエッセイに言った。「主はこれらのうち、誰をもお選びにならない。」11 サムエルはエッセイに言った。「あなたの息子はこれだけですか。」エッセイは言った。「末の子がまだ残っていますが、羊の群れの番をしています。」サムエルはエッセイに言った。「人をやって、彼を連れて来ててください。彼が来るまでは、私たちは食卓に着きません。」12 エッセイは人をやって、彼を連れて来させた。彼は血色が良く、目は美しく、姿も立派であった。主は言われた。「立って彼に油を注ぎなさい。彼がその人である。」13 サムエルは油の入った角を取り、兄弟たちの真ん中で彼に油を注いだ。この日以来、主の霊が激しくダビデに降るようになった。サムエルは立ってラマに帰った。

詩 編 第23篇

- 1 主は私の羊飼い || 私は乏しいことがない
- 2 主は私を緑の野に伏させ || 憩いの汀に伴われる
- 3 主は私の魂を生き返らせ || 御名にふさわしく、正しい道へと導かれる
- 4 たとえ死の陰の谷を歩むとも、私は災いを恐れない || あなたは私と共におられ、あなたの鞭と杖が私を慰める
- 5 私を苦しめる者の前で、あなたは私に食卓を整えられる || 私の頭に油を注ぎ、私の杯を満たされる
- 6 命あるかぎり、恵みと慈しみが私を追う || 私は主の家に住もう、日の続くかぎり

使徒書 エフェソの信徒への手紙 5章8－14節

5:8 あなたがたは、以前は闇でしたが、今は主にあって光となっています。光の子として歩みなさい。9 ——光の結ぶ実は、あらゆる善と義と真理との内にあるからです。——

エフェ 5:10 主に喜ばれるものが何かを吟味しなさい。11 実りのない闇の業に加わらず、むしろそれを明るみに出しなさい。12 彼らがひそかに行っていることは、口にすゝるのも恥ずかしいことなのです。13 しかし、すべてのものは光によって明るみに出されて、明らかにされます。14 明らかにされるものはみな、光だからです。それゆえ、こう言われています。「眠っている者よ、起きよ。死者の中から立ち上がれ。そうすれば、キリストがあなたを照らされる。」

福音書 ヨハネによる福音書9章1－41節

9:1 さて、イエスは通りすがりに、生まれつき目の見えない人を見かけられた。2 弟子たちがイエスに尋ねた。「先生、この人が生まれつき目の見えないのは、誰が罪を犯したからですか。本人ですか。それとも両親ですか。」3 イエスはお答えになった。「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。

ヨハ 9:4 私たちは、私をお遣わしになった方の業を、昼の間に行わねばならない。誰も働くことのできない夜が来る。5 私は、世にいる間、世の光である。」6 こう言ってから、イエスは地面に唾をし、唾で土をこねてその人の目にお塗りになった。7 そして、「シロアム——『遣わされた者』という意味——の池に行って洗いなさい」と言われた。そこで、彼は行って洗い、見えるようになって、帰って来た。8 近所の人々や、彼が物乞いをしていたのを前に見ていた人々が、「これは、座って物乞いをしていた人ではないか」と言った。

9 「その人だ」と言う者もいれば、「いや違う。似ているだけだ」と言う者もいた。本人は、「私がそうです」と言った。10 そこで人々が、「では、お前の目はどのようにして開いたのか」と言うと、11 彼は答えた。「イエスという方が、土をこねて私の目に塗り、『シロアムに行って洗いなさい』と言われました。そこで、行って洗ったら、見えるようになったのです。」12 人々が「その人はどこにいるのか」と言うと、彼は「知りません」と言った。

13 人々は、前に目の見えなかった人をファリサイ派の人々のところへ連れて行った。14 イエスが土をこねてその目を開けられたのは、安息日であった。15 そこで、ファリサイ派の人々も、どうして見えるようになったのかと尋ねた。彼は言った。「あの方が私の目にこねた土を塗りました。そして、私が洗うと、見えるようになったのです。」16 ファリサイ派の人々の中には、「その人は安息日を守らないから、神のもとから来た者ではない」と言う者もいれば、「どうして罪のある人間が、こんなしるしを行うことができるだろうか」と言う者もいた。こうして、彼らの間で意見が分かれた。17 そこで、人々は目の見えなかった人に再び言った。「目を開けてくれたということだが、お前はあの人をどう思うのか。」「預言者です」と彼は言った。18 それでも、ユダヤ人たちはこの人について、目が見えなかったのに見えるようになったということ信じなかった。ついに、目が見えるようになった人の両親を呼び出して、19 尋ねた。「この者はあなたがたの息子で、生まれつき目が見えなかったと言うのか。それが、どうして今は目が見えるのか。」20 両親は答えて言った。「これが私どもの息子で、生まれつき目が見えなかったことは知っています。21 しかし、どうして今、見えるようになったのかは、分かりません。誰が目を開けてくれたのかも、私どもは分かりません。本人にお聞きください。もう大人ですから、自分のことは自分で話すでしょう。」22 両親がこう言ったのは、ユダヤ人たちを恐れていたからである。ユダヤ人たちはすでに、イエスをメシアであると告白する者がいれば、会堂から追放すると決めていたのである。23 両親が、「もう大人ですから、本人にお聞きください」と言ったのは、そのためである。24 そこで、ユダヤ人たちは、目の見えなかった人をもう一度呼び出して言った。「神の前で正直に答えなさい。私たちは、あの者が罪人であることを知っているのだ。」25 彼は答えた。「あの方が罪人かどうか、私には分かりません。ただ一つ知っているのは、目の見えなかった私が、今は見えるということです。」26 すると、彼らは言った。「あの者はお前にどんなことをしたのか。お前の目をどうやって開けたのか。」27 彼は答えた。「もうお話ししたのに、聞いてくださいませんでした。なぜまた、聞こうとなさるのですか。あなたがたもあの方の弟子になりたいのですか。」28 そこで、彼らは罵って言った。「お前はあの方の弟子だが、我々はモーセの弟子だ。29 我々は、神がモーセに語られたことは知っているが、あの方がどこから来たのかは知らない。」30 彼は答えて言った。「あの方がどこから来られたか、ご存じないとは、実に不思議です。あの方は、私の目を開けてくださったのに。31 神は罪人の言うことはお聞きにならないと、私たちは承知しています。し

かし、神を敬い、その御心を行う人の言うことは、お聞きになります。32 生まれつき目が見えなかった者の目を開けた人がいるということなど、これまで一度も聞いたことがありません。33 あの方が神のもとから来られたのでなければ、何もおできにならないはずです。」34 彼らは、「お前は全く罪の中に生まれたのに、我々に教えようというのか」と言い返し、彼を外に追い出した。

35 イエスは彼が外に追い出されたとお聞きになった。彼と出会うと、「あなたは人の子を信じるか」と言われた。36 彼は答えて言った。「主よ、それはどなたですか。その方を信じたいのですが。」37 イエスは言われた。「あなたは、もうその人を見ている。あなたと話しているのが、その人だ。」38 彼が、「主よ、信じます」と言って、ひれ伏すと、39 イエスは言われた。「私がこの世に来たのは、裁くためである。こうして、見えない者は見えるようになり、見える者は見えないようになる。」40 イエスと一緒に居合わせたファリサイ派の人々は、これを聞いて、「我々も見えないということか」と言った。41 イエスは言われた。「見えない者であったなら、罪はないであろう。しかし、現に今、『見える』とあなたがたは言っている。だから、あなたがたの罪は残る。」